
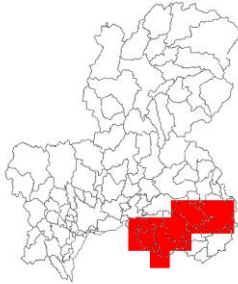


マネキシングユガヤ	<i>Scleria rugosa</i> R.Br. var. <i>onoei</i> (Franch. et Sav.) Yonek.	準絶滅危惧
		カヤツリグサ科
選定理由	分布域の多くは生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村瀬正成) 
形態の特徴	1年草。叢生し、茎は高さ10-30cm、葉や茎全体に毛はない。瘦果は広楕円形-球形。不規則な格子紋がある。	
生態的特徴	日当たりのよい湿地にはえる。	
分布状況	本州から九州に分布する。岐阜県では県南東部に分布する。	
減少要因	生育地の埋め立て、改修。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。湿地が富栄養化したため外来種が侵入し、生育箇所が狭められた例もある。	
保全対策	湿地の保護、保全、ため池改修時の生育環境維持活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成